

# 東北地方 3か月予報

(4月から6月までの天候見通し)

平成21年3月25日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。寒暖の変動が大きいでしょう。

5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。寒暖の変動が大きいでしょう。

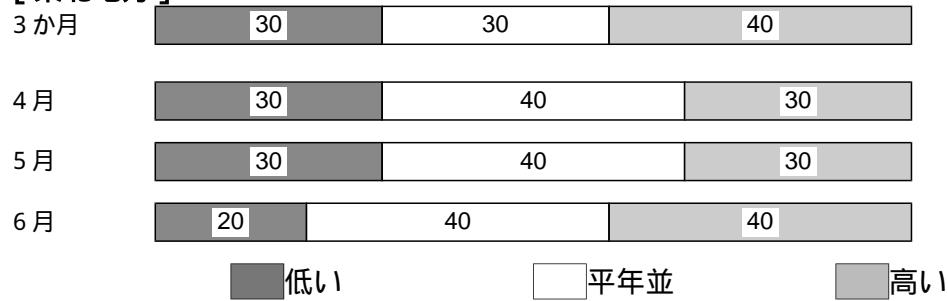
6月 東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

## <向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

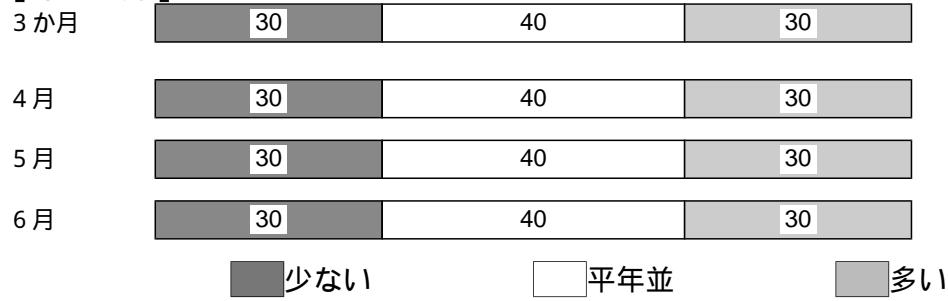
### <<気温>>

#### [東北地方]



### <<降水量>>

#### [東北地方]



## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月27日

3か月予報：4月23日(木) 14時

4月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月25日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温( )				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	4月	5月	6月	4月~6月	4月	5月	6月	4月~6月	4月	5月	6月	4月~6月
青森	7.9	13.1	17.0	12.7	60.7	78.8	82.2	221.7	187.3	210.1	180.7	578.1
深浦	8.3	13.0	17.2	12.8	93.3	108.8	109.4	308.6	174.7	197.4	179.6	551.7
むつ	7.2	12.1	15.6	11.7	81.1	92.3	109.0	282.3	193.8	207.7	162.6	564.2
八戸	8.3	13.1	16.1	12.5	58.9	84.7	99.2	242.8	194.3	207.5	168.8	570.7
秋田	9.2	14.2	18.8	14.1	117.6	122.8	127.5	367.9	175.0	191.4	178.0	544.3
盛岡	8.4	13.8	18.2	13.4	93.8	103.3	114.9	312.1	175.1	194.9	151.7	521.8
大船渡	9.0	13.6	17.3	13.3	138.0	149.8	171.5	449.3	176.0	196.3	148.2	520.5
宮古	8.7	13.1	16.0	12.6	96.3	98.4	117.3	311.9	192.3	191.8	140.4	524.4
仙台	10.1	14.9	18.3	14.4	98.1	107.9	137.9	343.9	190.9	198.7	127.9	517.5
石巻	9.2	14.0	17.7	13.6	91.8	98.2	111.6	301.6	192.6	206.5	145.6	544.7
山形	9.8	15.4	19.5	14.9	68.1	81.3	102.6	251.9	180.3	201.9	153.8	535.9
新庄	8.1	14.2	18.7	13.7	98.3	106.6	131.0	332.1	150.2	180.1	152.7	482.4
酒田	9.8	14.9	19.3	14.7	105.5	116.8	128.1	350.4	173.1	198.7	175.9	547.7
福島	11.3	16.5	19.9	15.9	79.5	87.5	118.1	285.1	188.6	198.1	130.1	516.7
若松	9.9	15.5	19.8	15.1	63.4	80.5	115.7	259.6	175.8	197.9	157.9	531.5
白河	9.8	14.8	18.4	14.3	100.5	120.0	167.6	388.0	184.2	188.4	121.9	494.5
小名浜	11.1	15.1	18.3	14.8	128.3	147.0	149.8	425.1	186.1	198.4	138.4	522.9

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971~2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	4月	5月	6月	4月~6月
気温平年差( )	東北地方	-0.3 ~ +0.5	-0.3 ~ +0.4	-0.6 ~ +0.2	-0.2 ~ +0.2
	東北日本海側	-0.5 ~ +0.6	-0.3 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.2	-0.2 ~ +0.2
	東北太平洋側	-0.5 ~ +0.5	-0.3 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.2	-0.2 ~ +0.2
降水量平年比(%)	東北地方	89 ~ 112	86 ~ 115	82 ~ 118	94 ~ 108
	東北日本海側	90 ~ 110	84 ~ 110	71 ~ 105	92 ~ 110
	東北太平洋側	84 ~ 113	82 ~ 111	88 ~ 111	89 ~ 112
日照時間平年比(%)	東北地方	94 ~ 103	98 ~ 105	95 ~ 106	97 ~ 103
	東北日本海側	92 ~ 106	95 ~ 104	96 ~ 107	97 ~ 105
	東北太平洋側	95 ~ 102	99 ~ 106	90 ~ 108	95 ~ 103

(3) 接近する台風の平年値

	4月	5月	6月
東北地方	0.0	0.0	0.1

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

# 東北地方 3か月予報解説資料 (4~6月)

平成21年3月25日 仙台管区気象台

## 1. 向こう3か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
4~6月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
4月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
5月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
6月：	平年並または高い確率がともに40%	各階級の確率の偏りは小さい

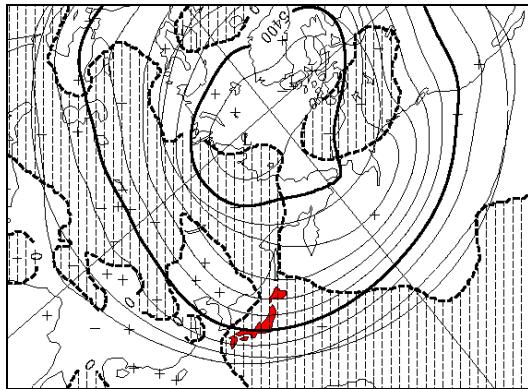
## 2. 暖候期予報の見直しについて

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月25日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

## 3. 数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

### 3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図（右図）：

予想図では、アリューシャンの南と中国南部に正偏差（平年より高度が高く、一般に暖気に対応）が広がるが、日本付近は弱い負偏差となる。850hPa気温予想図（図略）では日本付近は弱い正偏差となっており、平年並から高温傾向が予想されるが、寒気が南下して低温となる時期もある見込み。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎

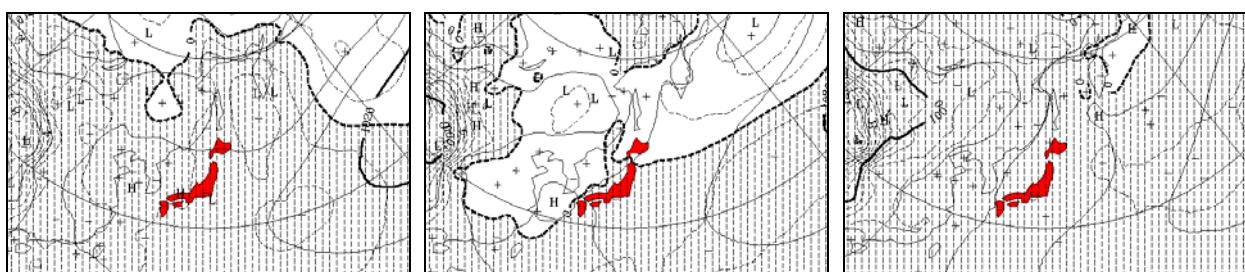
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

### 月別の地上気圧と偏差の予想図（下図）：

4月：日本の南東海上で高気圧が弱く、日本付近は東谷傾向の予想。天気は数日の周期で変わるが、寒気の南下する時期もあって寒暖の変動が大きい見込み。

5月：日本の南海上で高気圧が弱く、日本の北の低圧部が弱い。天気は数日の周期で変わるが、850hPa気温予想図（図略）では日本付近は弱い負偏差におおわれており、寒気の南下する時期もあって寒暖の変動が大きい見込み。

6月：日本付近は一様に負偏差となるが、分布に大きな偏りは見られず、平年と同様の天候を見込む。850hPa気温予想図（図略）では正偏差におおわれて平年並から高温傾向が予想される。

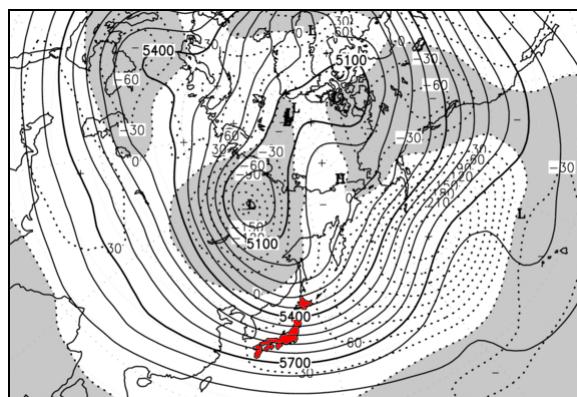


月別の地上気圧と偏差の予想図（左から4月、5月、6月）

実線は等圧線 4hPa 每、点線は偏差 1hPa 毎、陰影部は負偏差

## 4. 今月の循環場の特徴

3月(20日まで)：500hPa高度では、中央シベリアから中国東北区にかけて負偏差となり、シベリアの地上高気圧が平年より弱かったことに対応している。一方、アリューシャンの南に強い正偏差があり、また、日本付近を含む中緯度帯は正偏差におおわれた。日本付近で寒気の影響を受けにくい大気の流れとなり、冬型の気圧配置となつても長続きせず、東北地方は気温の高い日が多くなった。



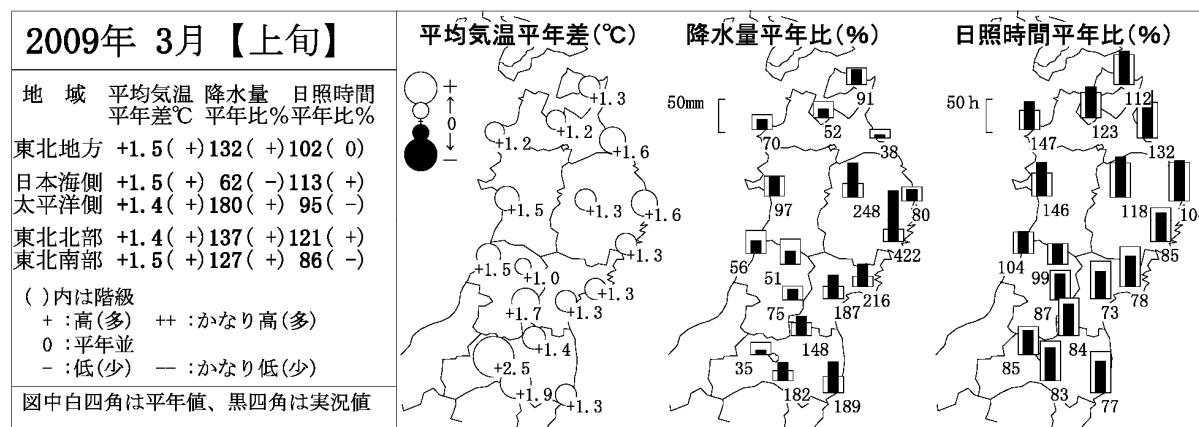
3月1日～20日の平均500hPa高度

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎、陰影部は負偏差

## 5. 最近の天候経過

**3月上旬**：6日から7日にかけては、二つ玉低気圧が日本付近を通過した影響で東北太平洋側を中心に降水量が多くなった。その他の日は、東北北部では高気圧におおわれ晴れの日が多くたが、東北南部では、南岸低気圧や前線の影響により曇りや雨または雪の日が多くなった。

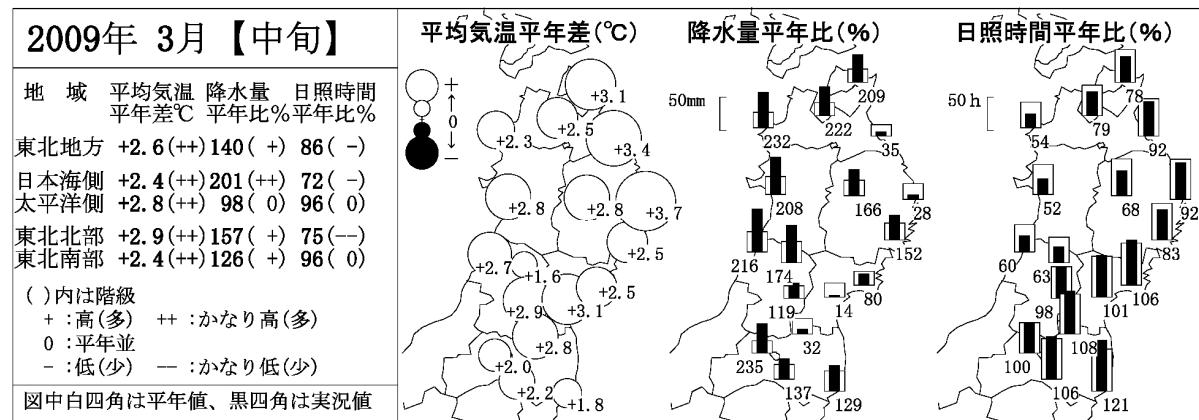
平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部で多く、東北南部で少ない。



東北地方における3月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

**3月中旬**：期間のはじめは、一時強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まった。その後は低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となつたが長続きしなかつた。なお、期間の終わりは日本の南の高気圧から南風が東北地方に吹き込んだ影響で気温が高くなり、19日には日最高気温が3月としての極値を更新したところもあった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。



東北地方における3月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

## 6. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

太平洋赤道域の海面水温は、中部から東部にかけて負偏差、西部では正偏差だった。海洋表層(海面から深度数百mまでの領域)の水温は、東部で顕著な負偏差、西部で顕著な正偏差だった。日付変更線付近の対流活動は不活発だった。これらの状態はラニーニャ現象時に見られる特徴を呈している。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、今後春から夏の初めにかけて基準値に近づくと予測される。ラニーニャ現象は春に終息に向かう見込みである。



### <参考資料>

#### 平年の天気出現日数（日）

	4月		5月		6月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	16.8	18.2	17.6	17.7	14.3	12.0
雨の日	10.9	8.9	10.4	9.3	10.3	10.4

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。